

雲出川水系(弁天川・大広川・小野谷川)流域 洪水ハザードマップ

このハザードマップは、弁天川・大広川・小野谷川が大雨によって洪水になった場合の浸水想定区域(三重県土木整備部作成)に基づいて、流域で想定される浸水範囲とその程度や、各地域の避難所等を示したものです。

1) 対象とした降雨
想定最大規模の降雨(現状の科学的な知見や研究成果を踏まえ、ある程度の蓋然性をもって想定し得る最大規模のもの)
[弁天川流域の24時間総雨量836mm]

2) 洪水浸水想定区域は、マップ作成時に弁天川・大広川・小野谷川(三重県管理区間)の河道整備状況等を勘案して、対象とした降雨に伴う洪水により氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。

3) 洪水の予想される区域及びその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化及び河川の整備状況により変化することがあります。

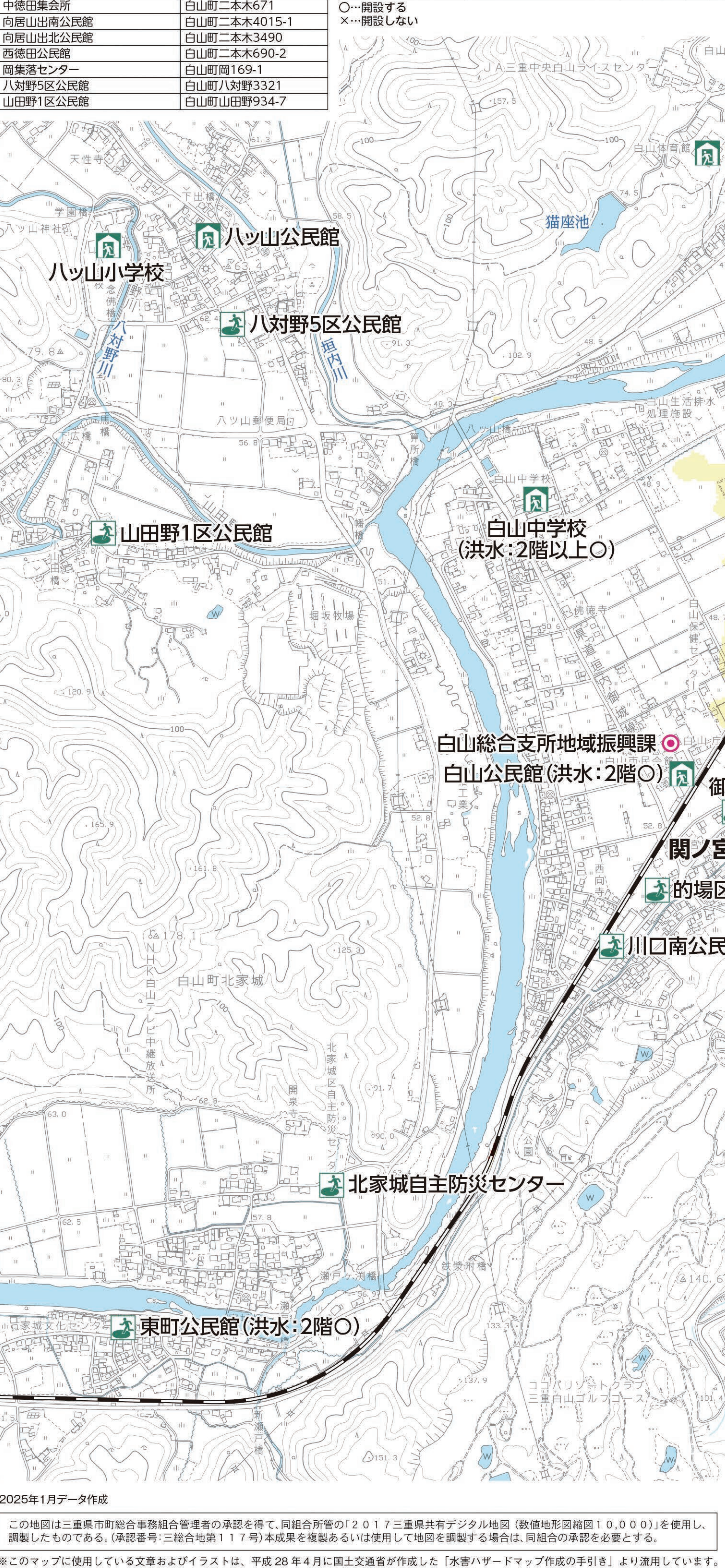
この地図上で色がついている区域は、大雨により浸水するおそれがある区域です。特に家屋倒壊等氾濫想定区域や浸水深が深い区域においては、避難情報に従って当該区域から安全な場所に速やかに、確実に立ち退いてください。

3 一時避難場所(洪水時に避難可能な施設)

名 称	所 在 地
<<白山地域>>	
東町公民館	白山町南家城162
北家城自主防災センター	白山町北家城1328
川口南公民館	白山町川口27
磐城公民館	白山町川口1076
的場区集会所	白山町川口1165
大広教育集会所	白山町川口6520
沖広倶楽部	白山町二本木403
中徳田集会所	白山町二本木671
向居山出南公民館	白山町二本木4015-1
向居山出北公民館	白山町二本木3490
西徳田公民館	白山町二本木690-2
鶴巻センター	白山町八対野169-1
八対野5区公民館	白山町八対野3321
山田野1区公民館	白山町山田野934-7

4 指定避難所

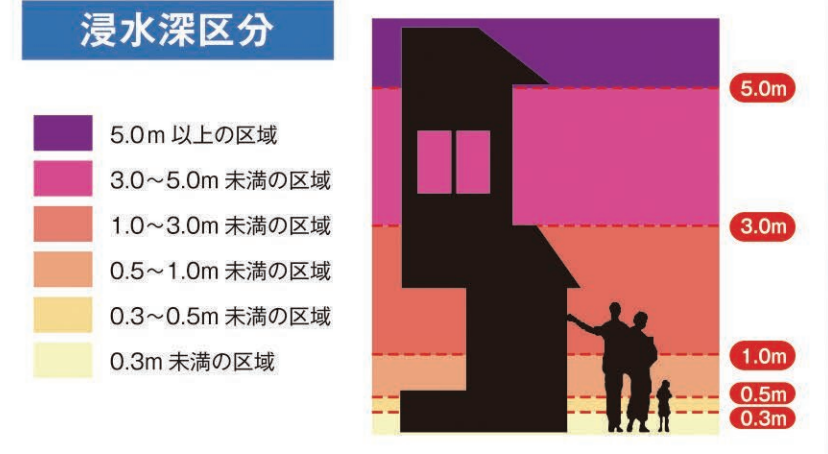
名 称	所 在 地	洪水	土砂	地震	津波	高潮
<<白山地域>>						
大広小学校	白山町二本木296	○	○	○	○	○
白山中学校	白山町川口471-6	○	○	○	○	○
白山公民館	白山町川口897	○	○	○	○	○
川口小学校	白山町川口1991	○	○	○	○	○
ハッ山小学校	白山町八対野2480	○	○	○	○	○
ハッ山公民館	白山町八対野994-1	○	○	○	○	○
白山体育館	白山町古市808	○	○	○	○	○
○…開設する						
×…開設しない						



指定避難所とは・・・
地震、風水害などの大規模災害に際し、避難した市民の皆さんを保護するための施設です。

一時避難場所とは・・・
家屋倒壊、堤防の決壊などにより危険な場合に、一時的に立ち退いて危険を避ける場所です。

指定避難所、一時避難場所などの情報は、津市のホームページで随時更新しています。
<https://www.info.city.tsu.mie.jp/>
<http://www.sp/genre/1489373525461/index.html>



洪水浸水深凡例	避難行動
家屋倒壊等氾濫想定区域	浸水深が深い区域は、避難行動が困難な可能性があることから、早期の立ち退き避難が必要。
河岸侵食	河岸侵食で家屋が倒壊するおそれがあることから、早期の立ち退き避難が必要。
家屋が浸水するおそれのある区域	浸水した場合、家屋が倒壊するおそれがあることから、早期の立ち退き避難が必要。
その他の浸水想定区域	浸水した場合、家屋が倒壊するおそれがあることから、早期の立ち退き避難が必要。
浸水想定区域外	浸水想定区域外の住民等は避難を要する可能性が低いことから、避難の準備を行う。

凡 例
指定避難所
一時避難場所
災害対策関連施設
水位計
雨量計
アンダーパス・地下道

避難訓練に参加しましょう
市内では多くの避難訓練が行われています。訓練に参加することで、防災意識を高め、災害時の対応なども確認できます。いざという時に備えて年に一度以上は訓練にご参加ください。

要配慮者利用施設は津市ホームページで随時更新しています。
<https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/sp/contents/1507702752225/index.html>
※要配慮者利用施設とは・・・社会福祉施設、学校、医療施設等、主として防災上の配慮を要する方が利用する施設です。

※このハザードマップは、弁天川・大広川・小野谷川などの浸水想定区域を表示しています。雲出川など他の河川の浸水想定区域は、別途それぞれの洪水ハザードマップを作成していますのでそちらをご確認ください。
※土砂災害警戒区域については、別途土砂災害ハザードマップを作成していますのでそちらをご確認ください。

洪水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップ、高潮ハザードマップ、内水ハザードマップ、地震防災マップ
<https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/sp/contents/1489556146841/index.html>



事前の心構えと避難の心得

◆家のまわりを点検・整備

家の前の排水溝が詰まっていないかの確認や、風で吹き飛ばされる物の撤去等が必要です。

◆家庭でできる簡易水防

浸水深が小さいときは、下記のようなことで、水の浸入を減少させることができます。
・大きめのゴミ袋やポリタック等に水を入れて、水の浸入口となるところに並べる。
・プラタナをつなげて水の浸入口となるところに並べる。
・長めの板と土嚢で臨時の止水壁を作る。

◆安全な避難路の確認を

避難場所等までの経路は、あらかじめ自分たちで決めておく、安全に通行できるかを確認しておきましょう。

◆正確な情報収集と早めの避難を

テレビ、ラジオ等で最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。危険を感じたら早めの避難をしましょう。

◆二人以上の避難を

避難するときは2人以上で、隣近所への声かけをしましょう。

◆氾濫水は勢いが強い

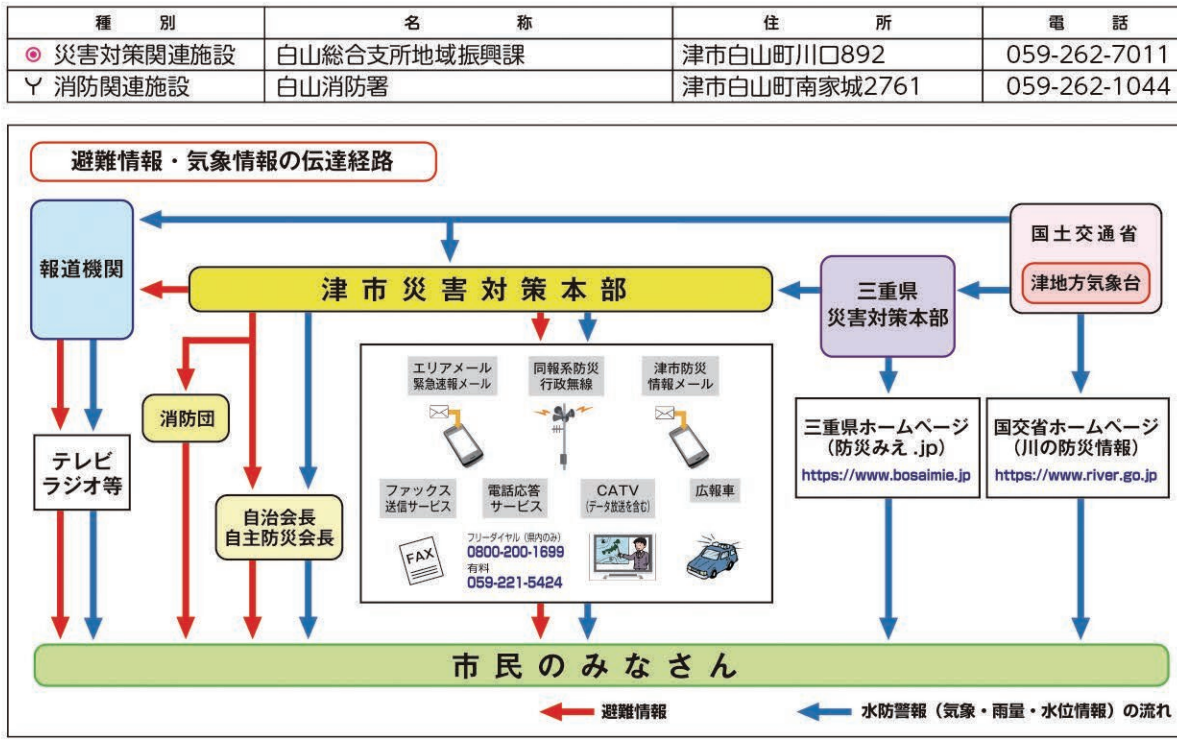
氾濫水は、勢いが強く水深が数メートルあると大人でも歩きの困難です。緊急避難として、高い堅牢な建物にとどまることも選択肢の一つです。

非常持ち出し品の事前準備をしましょう

懐中電灯、水、タオル、救急セット(常備薬)、ローソク、マッチ、ティッシュ、トイレシート、ペーパー、携帯ラジオと予備乾電池、非常食、貴重品、衣類・下着類、ロープ、ドライシャンプー、育児用品、ヘルメット、石けん、使い捨て食器、軍手、携帯ナイフ

避難時の心得

○動きやすい格好で



避難情報発令の判断基準

避難対象地区	判断地点	川口
●災害が発生又は切迫している状況 ●命の危険があることから、「立退き避難」や、直ちに身の安全を確保する「緊急安全確保」の行動をとる	判断地点 吹毛橋付近	判断地点の水位が基準(赤色)に達し、更に水位上昇が見込まれるとき、または当該河川において決壊や越流を確認したとき
●災害が発生する危険性が非常に高い状況 ●「立退き避難」を基本として、危険な場所から全員避難する ●ハザードマップ等により屋内での安全を確保できるか等を確認したうえで「屋内安全確保」することも可能	判断地点 吹毛橋付近	判断地点の水位が基準(黄色)に達し、更に水位上昇が見込まれるとき、または当該河川において決壊や越流を確認したとき
●災害が発生するおそれがある状況 ●「立退き避難」を基本として、高齢者や障がい者等、避難に時間を要する人は危険な場所から避難する ●ハザードマップ等により屋内での安全を確保できるか等を確認したうえで「屋内安全確保」することも可能 ●高齢者等以外の人も必要に応じ、出勤等の外出を控えるなど自衛の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する段階である	判断地点 吹毛橋付近	判断地点の水位が基準(青色)に達し、更に水位上昇が見込まれるとき、または当該河川において決壊や越流を確認したとき